

太陽がまぶしい

—— 感じたこと思ったこと ——

- ◇ 野外観察のような実習型の授業は初めてで、書いてあるもの以外もってこなかった。そしたらすぐに足を切り、消毒応急セットはもっていないし、観察するにも手でほじるしかないし、あらかじめ考えて準備してくる事は大事だと思った。でも来てみて足を保護するのにくつ下をはいている人もいた。来てみないとわからない方法もあるよなあ、と思った。シジミが大きくてびっくりした。最近のおみそ汁に入っているのはこんなくらいだ



から。講演を聞いてて長良川のシジミが河口堰で全然とれなくなった話を思い出した。



シジミはたくさんいたし、こんな貝や、カニ、エビ、トビハゼ、アナジャコも見つけた。いろいろ見れて良かったと思う。念願のゴカイはムリだったけど…。講演で言っていたことも、いろいろ知らない事もあったし、私も伊勢湾地区(三重。下水の普及が悪いのは知ってたけど)にすんで一人として考えないといけないと思った。

- ◇ 乗るバスを間違えて、干潟にたどりつけたのが 1:00 近くだったので、ほとんど参加できず大変残念でしたが、生きているシャコやとても大きなシジミなどを見れ、干潟保護の方々から、興味深い話を聞けたのが、とても印象に残りました。歩いただけで、足のうらにあたるほどたくさんのシジミがいたので、人工で養殖したわけでもないのに、天然にこれほどたくさんシジミがいる状況は、少し昔だったらごく普通の事だったのなら、同じように環境があるうちは気にもとめられないほど多数あちこちに生息していて、開発などに



よって環境がなくなると共に一気に数が激減していった生物種は多いのだろうなと思いました。

- ◇ 藤前干潟を最初あるいて、生物があまりいないと思っていたが、望遠鏡などで干潟を見たらカニや鳥などがたくさんいて、おどろきました。寺井先生の話でも、干潟の役割や機能を知り、干潟についてもっと知りたくなった。



- ◇ 藤前干潟に来た時は、干潟の部分はとても少なく、少し時間がたつととても広がることにビックリしました。こんどは調査しにきたいと思いました。
- ◇ 今日藤前干潟に来るのをとても楽しみにしてきました。藤前干潟に来たのは初めてだったけど、すごいわくわくして楽しかったです。少し掘っただけでしじみ

が出てくるし、言われたように、場所によって貝の数が全然ちがいました。小さい穴はエドハゼやシャコ、カニがいたり、エドハゼがシャコの巣で共生している事なども教えてもらいました。また、来たいと思った。

- ◇ 私 は名古屋に住んでいますが、今回初めて来ました。実際に干潟を前に講義を聞き、エドハゼ、シャコ、カニを見て、大切さを感じることができました。ゴミ分別をしてはいましたが、理由はそんなに深く考えたことはなかったもので、非常にためになりました。いつかまた調査をしにいきたくなりました。今回はよい機会をありがとうございました。

- ◇ 藤前干潟は想像とは違いました。横に広くひろがっていると思っていたので、奥まで干潟がつづいていて驚きました。

干潟においてみると、泥で足をとられながらも、たくさん歩きました。そこには小魚がおり、泥の中にはしじみがいり、かにもいました。かには人間が近づくと巣にかくれてしまったけど、陸から双眼鏡でのぞくと、全体にかにかがいて感動しました。今回、環境庁の方がおり、色々話を聞くことができました。とても



勉強になり、また、楽しかったです。

- ◇ **前**々から藤前干潟についての話は何度か耳にしたことはあったが、実際に来たのは初めてで、生き物の活動を自分の目で見て楽しかったし、色々と考えさせられることがあった。

- ◇ **藤前干潟**を歩いて思っていたよりたくさんの生物がいたのでびっくりしました。環境省の人が生物のいろいろな話をしてくれてすごくおもしろかったです。こんなにたくさん生物がいるので本当に埋め立てられなくてよかったですと思いました。次にこんな体験があったらまた参加してもうちょっといろんな事を学んでみたいと思いました。



- ◇ **私**は常滑市出身なので海がすぐそばにあります。中部空港についてはあまりよく知りませんでしたが、今回ので内情を知り改めて地元のことを知りました。今日は干潟がどのようなものか自分の目で見た（体験できた）のでとてもよい経験ができました。また野鳥の会の人にもお話もきけたので知識がふえました。また機会があれば調査などの手伝いをしたいと思います。

- ◇ **今日**初めて藤前干潟に来て、けっこう広いんだと気づきました。この日ざしと地面からの振り返りにバテバテになりながら、泥まみれでハシャギました。ここでしかいない小さな魚を手づかみしたり、カニを探したり、とても楽しかったです。ハシャギすぎて貝で足の裏を切っ
てしまい、ショックでした。



- ◇ **干潟**は思っていたよりも広がったし、泥がすごかった。かい？を素足でふんでしまって、すごくいたかったけど、始めてみるみる動物等を見てよかったです。深さ3mぐらいに生息している動物？じゃこでもしゃちでもないものは、浄化が4.5倍

すごいついて言ってやほって、すごくびっくりしたし、その動物の発見で再調査というのは本当にびっくりだし、自然のすごさを知りました。今日はとても暑くて大変だったけど、干潟にふれる事ができてよかったですと思います。

- ◇ **藤前干潟**へ来たのは、今日がはじめてです。干潟というものが何かさえよく知らなかったけど、今日よくわかりました。干潟に入った感想はぬるぬるしていて、きもちよかったです。カニや魚もみました。そして、たくさん問題があることも知りました。それにしても今日はあついつつ!!!! へとへとです。でも、いい経験ができました。



- ◇ **今日**、初めて藤前干潟に来て、こんな工業地帯のところにあるのだと、知っていたけれどおどろきました。来たときは、まだあんまり潮がひいていなかったけれど、みるみるうちにひいていって、たのしくなってきました。生物もたくさんいて、干潟を歩くのが楽しかったです。また、来てみたくなりました。少し暑くてバテてしまったので、今度来るときは、しっかり体力をつけて来たいです。

- ◇ **今日**、はじめて藤前干潟に来ました。干潟に来るのははじめてではなかったのですが、見るものすべてがとても新鮮でした。干潟にいる生き物の一部を見たり、それらについて説明を聞いたり……。とてもいい経験でした。体験だけでなく、講義もとてもいいものでした。身近な話題だったため、より興味を持って聞くことができました。これから、自分ができることを少しずつやっていこうかなって思いました。

- ◇ **藤前干潟**に来て、最初みたときはまだあまり潮がひいてなかったのもので全く干潟らしくなかったが、どんどん引いていくと干潟が現われてきて、みるみるうちに広大なものにな



っていく姿には自然の不思議さを感じた。また、寺井先生の話は授業できくよりもわかりやすく、勉強になった。自分の足であるくのも、初体験でとてもよい体験になった。今日、藤前干潟に来てとてもよい勉強になりました。

- ◇ **今日**は初めて干潟に来て、いろいろ体験できました。寺井先生のお話も、実際干潟を見ながら聞いている

とてもわかりやすかったです。自分で干潟を歩いてカニなどの動物を見つけ、それについて話を聞いたり、とても充実した時間をすごせました。ただ暑くてバテてしまったのでもっと体力をつけたいと思いました。またこのような機会があれば、ぜひ来たいです。

◇ 自然体験を今回したが次回来れた時は調査の手伝いをしようと思う。傷をしたので、次回からは消毒薬をもってこようと思う。

◇ シジミが多量におり、カキ、シャコ、カニなどの生物も見られた。母の実家のある三重は二見の海で、これほどの多量の生物は見たことがない。これは干潟が生物にとって住みやすい環境だからだろう。この環境は守っていかなければいけない。そう考えさせられた1日だった。



人間は自分の足元をよく見て行動しなければいけないだろう。そうしなければ必ず自然に足元をすくわれ、大きなしっぺ返しを受ける。それは足元をよく見ず石につまづいてこけてしまった大木戸先生の例をみてもあきらかだろう。

◇ 行程：10:30 藤前干潟前の堤防上に現地集合。まだ、潮はおおいに満ちている。寺井教授はゴムボートに乗って、沖合いの海水中の酸素量の測定中 ⇨⇨ 野鳥の観察（野鳥の会、干潟保存の会の人が見遠鏡を用意して、見せてくれる。懇切丁寧な説明付）、大潮が引いていくのを時間とともに観察している。みるみるうちに干上がってくる ⇨⇨ 12:00 炎天下、形だけのテントの下で、寺井先生の講演 ⇨⇨ 12:30 広大な干潟において歩く、そこでも説明をうける。各自、勝手に遊ぶ ⇨⇨ 潮が満ちてくるまえに堤防に上がって弁当を食べる ⇨⇨ 14:30 感想文書いて、現地解散

◇ 参加者：学生19名、教職員5名の合計24名

◇ 写真提供：手嶋忠之教授（中部大学工学部理学教室）

◇ 主催：中部大学教養教育部総合科目と工学部理学教室

◇ 連絡先：理学教室、北村市次郎（中部大学9号館3階東端の研究室）

Tel: 0568-51-9893、 e-mail: kitamura@isc.chubu.ac.jp

